

平成 22 年度 (社)日本地すべり学会事業報告

1. 総務部

(1) 行事

- ・ 通常総会の開催
日 時：平成 22 年 5 月 14 日（金） 午前 10 時～10 時 40 分
場 所：東京都 学術総合センター中会議場
- ・ 理事会の開催
第 1 回：平成 22 年 5 月 14 日（金） 学術総合センター
第 2 回：平成 22 年 7 月 6 日（火） 沖縄県市町村自治会館
第 3 回：平成 23 年 3 月 10 日（木） (財)深田地質研究所
第 4 回：平成 23 年 4 月 22 日（金） (財)深田地質研究所
- ・ 幹事会の開催
第 1 回：平成 22 年 7 月 6 日（火） 沖縄県市町村自治会館
第 2 回：平成 22 年 12 月 3 日（金） 学術総合センター
第 3 回：平成 23 年 3 月 10 日（木） (財)深田地質研究所

(2) 庶務委員会

- ・ 各部・各支部間の調整
- ・ 議事資料および議事録の作成
- ・ 公益法人化への対応(規程・内規・指針の見直しと整備)

(3) 財政委員会

- ・ 公益法人会計への対応
- ・ 予算執行状況の確認
- ・ 決算書・予算書の作成

(4) 広報委員会

- ・ HP 内容の更新および情報の充実
- ・ メーリングリストの管理と情報発信
- ・ 公益法人化への対応(公益情報の提供)

(5) 総務部会開催

- ・ 第 1 回：平成 22 年 9 月 3 日（金） (社)斜面防災対策技術協会
- ・ 第 2 回：平成 22 年 10 月 1 日（金） 生涯学習センター
- ・ 第 3 回：平成 22 年 11 月 5 日（金） (社)斜面防災対策技術協会
- ・ 第 4 回：平成 22 年 12 月 10 日(金) (社)斜面防災対策技術協会
- ・ 第 5 回：平成 23 年 2 月 2 日（金） (社)斜面防災対策技術協会

2. 事業計画部

(1) 平成 22 年度総会およびシンポジウムの開催

日 時： 平成 22 年 5 月 14 日（金） 10 時～17 時
会 場： 学術総合センター会議室
テーマ： 地すべり災害発生時の迅速な対応

意見交換会： 学術情報センター

- (2) 第 49 回研究発表会および現地見学会(沖縄県)の開催
 - ・ 県民講演会 日 時： 平成 22 年 7 月 6 日 (火)
 - ・ 会 場： 沖縄県市町村自治会館
 - ・ 参加人数： 220 名
 - ・ 特別講演会・研究発表会・意見交換会
 - ・ 日 時：平成 22 年 7 月 7 日 (水) ～7 月 8 日 (木)
 - ・ 会 場：沖縄ハーバービューホテル
 - ・ 参加人数： 550 名
 - ・ 現地見学会 日 時：平成 22 年 7 月 9 日 (金)
 - ・ 見学地：安里地すべり
 - ・ 参加人数： 155 名
- (3) 平成 23 年度シンポジウムの準備
 - ・ シンポジウムのテーマと講演者の決定
 - ・ 開催案内の作成
- (4) 第 50 回研究発表会および現地見学会(静岡県)の準備
 - ・ 開催県(地)における準備および実行委員会と幹事会への出席
 - ・ 開催案内の作成
- (5) 部会
 - ・ 7 回開催(平成 22 年度： 4/20、6/25、7/8、8/20、10/18、12/13、2/18)

3. 研究調査部

(1) 研究委員会

平成 22 年度の助成金対象研究委員会は凍結中を含め 3 委員会である。平成 20 年度より地震地すべり特別プロジェクトが承認されたことを受け、①の研究委員会は当面凍結で特別プロジェクト終了後に研究委員会 3 年目の研究を実施。③の研究委員会は当面凍結、②の委員会は活動を続けるものの助成金を大幅に減額しての活動を行った。

① 発展途上国における地すべり災害の危険度軽減研究委員会

代表：丸井英明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 年目(当面凍結)

② すべり面の地質的特徴及び構造・物性等の実態に関する研究委員会

代表：山田正雄・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 年目(補助金縮小)

③ すべり面推定精度に合わせた地すべり対策工計画・設計手法の検討委員会

代表：檜垣大助・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 年目(当面凍結)

(2) 受託業務

平成 23 年度河川砂防技術研究開発の砂防技術分野公募に応募した。

(3) 緊急災害調査

① 緊急災害調査

- ・ パキスタン大規模地すべりダム災害について、平成 22 年 6 月 22 日～27 日に調査を実施。前会長の丸井英明教授、前研究調査部長の八木浩司教授らを中心として

- ・平成 22 年 7 月 16 日、広島県庄原市北部の川北町，西城町を結ぶ県道 445 号線を中心とする地域に集中豪雨が発生し，洪水と斜面崩壊，土石流などの土砂災害が発生し，京都大学の福岡浩准教授を中心として災害調査を実施した。
- ・平成 22 年 8 月 8 日に中国甘肅省で発生した土石流災害について平成 22 年 10 月 15 日～22 日に調査を実施。鶴飼恵三会長をはじめとする 6 名の調査団で災害調査を実施した。この調査報告は学会誌に掲載されている。

② 4 学会合同調査報告会

- ・平成 22 年 9 月 30 日、(社) 土木学会 講堂にて砂防学会、地盤工学会、土木学会、日本地すべり学会の 4 学会合同で、平成 22 年 7 月広島県庄原市で発生した土砂災害に関する調査報告会を開催した。当日は約 60 名の方が参加された。

③ 地すべり・土石流災害調査報告会の開催

- ・平成 22 年 12 月 3 日埼玉会館 7 A 会議室にて開催。H22 年度に日本地すべり学会で実施した災害調査の内容について報告を行った。当日は約 50 名の方が参加された。

(4) 研究調査部会

- ・研究調査部会を平成 22 年 7 月 6 日に沖縄県市町村自治会館 第 7 会議室(沖縄県那覇市旭町 116-37) で開催し，平成 21 年度の活動報告と平成 22 年度の活動方針および研究調査部の課題について検討した。

(5) 地震地すべり特別プロジェクト

- ・各分科会の活動を実施するとともに、総括編の第 1 次原稿のとりまとめを実施。

4. 編集出版部

(1) 日本地すべり学会誌編集委員会

① 編集委員会の開催(月一回：年 12 回開催)

② 日本地すべり学会誌 vol. 47-3～48.2 計 6 号

- ・特集号の企画 47(4) 「地すべり対策工としてのアンカー工」
- ・47(6) 「近年の地すべりダム」
- ・48(2) 「地すべり災害発生時の迅速な対応」
- ・シリーズ：「川越地すべり(landslides traversed by river)」の開始 47(3) より
- ・シリーズ：「空から見る日本の地すべり地形」再開 47(4) より

③ 通巻 200 号記念事業

- ・48(2) への会長巻頭総説掲載
- ・総説シリーズの企画と執筆者選定と執筆依頼
- ・48(3) 以降の一般号における掲載に向けた編集作業の開始

④ 日本地すべり学会誌の J-stage での閲覧開始

- ・現在非会員は 1 年前以前のものについて閲覧可能としている。
- ・日本地すべり学会誌掲載論文の学術的周知度を上げる意味から非会員にも公開すべきではないかという議論が上がっている。他学会の動きを見ながら検討を開始

- ⑤ 掲載論文の英文・和文表題の適切性確認のための手順を内規で定めることとした。
- ⑥ 非学会員を第一著者あるいは単著とする論文投稿の是非について、それを認める代わり投稿料を徴収することについて議論を進めることになった。

(2) Landslides in Japan 改訂版編集委員会

- ・Landslides in Japan 改訂版編集委員会(土屋 智委員長)では桐生国際会議(平成 24 年 11 月)開催にあわせて出版を計画した。

5. 国際部

(1) 国際交流活動

- ・ 国際ランドスライドフォーラム (ICL 主催) との連携、参加
- ・ 平成 23 年 9 月に開催予定の ICFL (XIII International Conference and Field Trip on Landslide) を後援することを決めた
- ・ 欧州地球科学連合総会参加：地震時地すべり、豪雨時地すべりのセッションの提案し、認められた。オーラルセッション 1, ポスターセッション 1 が認められた

(2) 国際情報広報活動

- ・ 日本地すべり学会誌「国際ニュース」へのニュースの掲載(平成 22 年 5 月号、平成 22 年 7 月号)

(3) 地震地すべりに関する国際シンポジウムの開催

- ・ 平成 22 年 11 月に群馬県桐生市で開催することとした。

・

6. 表彰委員会

(1) 学会賞(論文賞・谷口賞・奨励賞・国際賞・その他の賞)の審査

- ・ 会誌 (Vol. 47, No. 1 公示) で会員からの推薦公募 締め切り：平成 22 年 3 月 5 日
- ・ 第 1 回委員会：平成 22 年 3 月 10 日開催 審議方針、候補論文リスト作成審議
- ・ 第 2 回委員会：平成 22 年 4 月 2 日開催；候補論文査読結果の審議
- ・ 論文賞：森脇 寛、学会活動特別表彰：山田正雄 両氏の推薦決定

(2) 学会長へ表彰委員会報告書の進達：平成 22 年 5 月 12 日

- ・ 理事会の議を経て第 49 回日本地すべり学会研究発表会沖縄大会表彰式で授与：平成 22 年 7 月 7 日

7. 各支部の行事

(1) 北海道支部

① 支部総会：平成 22 年 4 月 23 日 (金)

- ・ 札幌市 (エルプラザ) にて開催した。

② 特別講演会

- ・ 総会に引き続き、同会場で北海道地すべり学会との共催により、参加者 198 名 (会員 54 名、一般参加者 144 名) を得て開催した。
- ・ 特別講演：「温暖化が積雪地帯の土砂災害に与える影響」

京都大学防災研究所 松浦純生教授

③ 研究発表会

- ・ ①、②に引き続き、研究発表は9件の発表が行われた。
- ・ 意見交換会を特別講演および研究発表会終了後に札幌アспенホテルにて開催した。

④ ホームページ公開

- ・ 北海道支部のホームページの運営・管理を行った。

⑤ 現地検討会

日 時 : 平成 22 年 8 月 27 日 (金) ……日帰り

テーマ : 札幌の地下を構成する地質と急崖斜面对策

参加者 : 35 名 (意見交換会 15 名)

参加費 : 5,000 円 (意見交換会費 3,000 円は別途)

見学地

◆ 豊平峡ダム

案内者: 札幌開発建設部 豊平川ダム統合管理事務所 齊藤 政憲 氏
株式会社 ドーコン 山 真典 氏

◆ 札幌～北広島地質巡検

案内者: アースサイエンス株式会社 岡 孝雄 氏

⑥ 技術講習会

日時: 平成 23 年 1 月 28 日 (13:30～16:30)

テーマ: 「現場に役立つ地すべり事例の紹介」

- ・ 北見工大の前田先生、応用地質(株)の新田氏、(株)ドーコンの鈴木氏の計 3 名の講師により、現場に即した調査・解析ノウハウを中心とした講習会を実施した。

⑦ 技術委員会

◆ 第 1 回委員会

日 時 : 平成 22 年 6 月 5 日 (金) 14:00～17:00

場 所 : 北海道自治労会館 4F 第 4 会議室

参加者 : 17 名 (委員 10 名、他 7 名)

テーマ: 「地すべりを想定して発注された業務で地すべりを否定した事例」

株式会社 ダイヤコンサルタント 渡辺 一樹 氏

「S T マイクロパイル工法-斜面補強工事への適用について」

株式会社 ケー・エフ・シー (NIJ 研究会 技術委員) 渡邊 直人 氏

「地すべり移動体構成物質に基づく地すべりの分類

一生田原南地すべり地域の熱水変質帯地すべりの例- (仮題)」

北見工業大学 前田 寛之 教授

◆ 第 2 回委員会

日 時 : 平成 23 年 2 月 4 日 (金) 14:20～16:50

場 所 : 松崎南 1 条ビルディング 2F 会議室

参加者 : 14 名 (委員 11 名、他 1 名)

テーマ: 「地すべり調査における表面波探査の活用例」

株式会社 田宮設計事務所 技術部 安田 匡 氏

⑧ 研究委員会

◆平成 22 年度第 1 回（通算 49 回）委員会

日 時：平成 23 年 1 月 28 日（金） 15：00～17：30

会 場：北海道立総合研究機構 地質研究所

参加者：27 名

テーマ：「2010 年に発生した斜面災害報告」

- ・ 壮瞥町上久保内の地すべり 田近 淳（道総研 地質研究所）
- ・ 12 月 2 日の清田区直下の地震による斜面崩壊 田近 淳（道総研 地質研究所）
- ・ 平成 22 年 7 月 17～19 日の豪雨による遠別川上流の斜面崩壊
ー古丹別層泥岩に分布する地すべり地形の滑落崖で発生ー
戸田英明（㈱ドーコン）
- ・ 遠別町 道路盛土の被災事例と復旧工法 坪山厚実（明治コンサルタント㈱）
- ・ 8 月 14 日 遠別・天塩の豪雨災害 石丸 聡（道総研 地質研究所）
- ・ (社)日本地すべり学会 2012 年大会に向けての取り組み
- ・ 「北海道の地すべり' 99」以降の斜面災害・指定防止区域を中心とした報告・案内書を取りまとめる。作成予算しだいで紙印刷となるか CD・DVD となるかは不透明であるが、技術委員会と連携して取り組んでいくことを確認した。

⑨ 企画委員会

◆平成 22 年度 日高振興局山地災害防止キャンペーン 模型展示、実演

- ・ 北海道日高振興局主催の「平成 22 年度 日高振興局山地災害防止キャンペーン 治山事業写真パネル展」に協力し、北海道立総合研究機構地質研究所、北海道森林土木設計協会の協力を得て地すべり模型の展示実演を行った。
- ・ 対 象：日高振興局管内一般市民
- ・ 日 時：2010 年 6 月 27 日（日）～6 月 30 日（水）（4 日間）
- ・ 場 所：浦河ショッピングセンター M i O

◆北海道岩見沢農業高等学校「山地防災教室」開催

- ・ 北海道岩見沢農業高等学校にて「山地防災教室」を開催した。
- ・ 対 象：同校森林科学科の 1 年生 41 名
- ・ 日 時：平成 23 年 2 月 2 日（水）13：15～14：50（1 時間 35 分）
- ・ 場 所：北海道岩見沢農業高等学校教室
- ・ 講習内容：「治山」「山地防災」「森林の役割」と「地すべり防災」をからめた基礎的事項の授業および地すべり模型の実演、空中写真判読実習

⑩ 支部運営委員会

- ・ 第 1 回 平成 22 年 7 月 13 日（火）開催
- ・ 第 2 回 平成 23 年 2 月 25 日（金）開催

(2) 東北支部

① 総会・意見交流会

6 月 4 日、仙台市戦災復興記念館地下大ホールで支部総会。参加者 支部総会・シンポ 146 名、意見交流会 35 名。

② シンポジウム

総会后、同会場にてシンポジウムを開催。テーマ「地震時の斜面災害ーこれまでの経験から学び取ったこと、そして今後の地域防災に向けてー」。基調講演・丸井先生、シンポ話題提供 4 名。

③ 現地検討会

平成 22 年 10 月 28・29 日の二日間、青森県十和田市内の鳶川地すべり・奥入瀬地すべりの二つを対象として開催。参加者 58 名。現地の資料提供・説明等で青森県県土整備部、三八上北森林管理署にご支援いただいた。

④ 社会貢献・会員拡大活動(出前講習会)

- ・平成 22 年 9 月 1 日、平成 22 年度治山研修（東北森林管理局主催）に山科副幹事長、濱崎幹事を派遣。受講者：治山担当者 25 名。
- ・平成 22 年 11 月 10～12 日、平成 22 年度治山技術現地「地すべり」研修（林野庁主催）に千葉幹事長、山科副幹事長、小原会員の三名を派遣。受講者：都道府県担当職員他 25 名。

⑤ 研究活動(地震地すべりプロジェクト)

荒砥沢地すべり現地見学会・コア観察会を平成 22 年 10 月 5・6 日に栗駒ハイルザーム(栗原市内)で開催。地震地すべりプロジェクト第 8 分会小分科会、東北支部と東北森林管理局と共催。日帰り 27 名、宿泊 29 名、計 56 名参加。

⑥ 他学協会との交流活動

平成 23 年 2 月 3 日、「”だいち”衛星画像を活用した国土基盤整備シンポジウム」(同実行委員会主催)に支部が後援として参加。檜垣支部長が事例報告。

⑦ 広報活動

ホームページについては、行事開催の都度 update。支部だよりを主な年間行事の開催後の年度末に発行予定としていたが、震災のため延期。

⑧ 運営委員会、幹事会、役員会

・運営委員会

平成 23 年 3 月 3 日 榊復建技術コンサルタント 会議室

・幹事会

平成 22 年 5 月 22 日 榊テクノ長谷 会議室(16 名出席)

平成 22 年 9 月 14 日 榊テクノ長谷 会議室(15 名出席)

平成 23 年 1 月 17 日 榊テクノ長谷 会議室(11 名出席)

・役員会

幹事会他、上記の行事の際に同時開催(4 回 6 名出席)。

(3) 新潟支部

① 平成 22 年度支部総会

開催日：平成 22 年 5 月 21 日（金）

場 所：新潟県民会館小ホール

② 第 38 回 地すべりシンポジウム

主 催：(社)日本地すべり学会 新潟支部

共 催：(社)地盤工学会 北陸支部

後 援：新潟県、(社)新潟県地質調査業協会、

(社)斜面防災対策技術協会新潟県支部、新潟県地すべり防止工事士会

開催日：平成 22 年 5 月 21 日（金）

場 所：新潟県民会館小ホール

テーマ：気象変動と斜面災害

研究発表：5編

参加者：シンポジウム 96名，意見交換会 41名

③ 第38回 地すべり現地検討会

主 催：(社)日本地すべり学会 新潟支部

共 催：(社)地盤工学会 北陸支部

後 援：新潟県，(社)新潟県地質調査業協会，(社)斜面防災策技術協会新潟県支部，
新潟県地すべり防止工事士会

協 賛：新潟県農地関係地すべり防止事業推進協議会，新潟県治水砂防協会

開催日：平成22年9月27日(月)

場 所：八幡地すべり(妙高市上平丸)

テーマ：融雪期に発生した大規模地すべり

参加者：79名

④ 新潟県地すべり災害記録CD改訂版」の出版

- ・ 2010年版：平成22年5月21日出版
- ・ 2011年版：平成22年に発生した地すべり災害記録を追加し，
- ・ 平成23年5月20日出版予定

⑤ 新潟支部ホームページの管理・運営

- ・ 支部の活動，行事，出版物等の情報を発信。
- ・ URL <http://www.landslide-niigata.org>

⑥ 会議記録

役員会：第1回 平成23年4月22日(予定)

執行部会：第1回 平成22年6月12日 5名出席

第2回 平成22年7月31日 8名出席

第3回 平成22年9月18日 8名出席

第4回 平成22年12月18日 9名出席

第5回 平成23年1月8日 6名出席

(4) 関東支部

① 平成22年度(社)日本地すべり学会関東支部総会・シンポジウム・意見交換会

開催日：平成22年6月18日(金)

開催場所：東京大学工学部武田先端知ホール

参加者：シンポジウム：122名，意見交換会：41名

テーマ：新技術を用いた空(宇宙)からの地すべり地形把握と解析

講演：「SAR干渉画像と航空レーザ測量データを利用した地表変動の検出」

国土地理院 佐藤浩

講演：「合成開口レーダによる災害監視の事例」

株式会社パスコ 下村博之

講 演：「2 時期のレーザ地形画像マッチングによる地すべり移動量の計測」

国際航業株式会社 向山栄

② (社) 日本地すべり学会関東支部 現地検討会

- コース1 「群馬県内久保地すべり」 (参加者：27名)

期日：平成22年7月30日(金)

場所・内容：H19 災害現場の群馬県内久保地すべり対策工の見学

協力：群馬県森林保全課・群馬県富岡森林事務所ほか

- コース2 「三宅島の火山災害とその対策」 (参加者：14名)

期日：平成22年11月21日(日)～22日(月)

場所・内容：東京都三宅村、2000年噴火災害に対する防災施設の見学

協力：東京都三宅支庁

③ 支部会員発信のニューズレターの発行

No.6 (発行日：平成22年9月29日)

④ 会議記録

(1) 運営委員会

第1回 平成22年5月20日 出席者：16名

(場所 国土防災技術(株)本社会議室)

(2) 幹事会

第1回 平成22年5月20日 出席者：16名

(場所 国土防災技術(株)本社会議室)

第2回 平成22年6月30日 出席者：16名

(場所 日本工営(株)本社会議室)

第3回 平成22年9月1日 出席者：11名

(場所 日本工営(株)本社会議室)

第4回 平成22年9月29日 出席者：8名

(場所 日本工営(株)本社会議室)

第5回 平成22年12月10日 出席者：9名

(場所 日本工営(株)本社会議室)

第6回 平成23年3月7日 出席者：9名

(場所 日本工営(株)本社会議室)

(5) 中部支部

① 平成22年度支部運営委員会

日 時：平成22年6月16日(水)

場 所：長野市ホテルメトロポリタン

② 中部支部総会

日 時：平成22年6月16日(水)

場 所：長野市ホテルメトロポリタン

③ 特別講演会

日 時：平成22年6月16日(水)

場 所：長野市ホテルメトロポリタン

参加者：90名

演題：「海外技術協力 イランの場合」

長野県参事兼砂防課長 長井 隆幸氏

「中国、台湾における最近の災害」

日本工営(株) 国土保全事業部副技師長 上野 雄一氏

④ 現地見学会検討会

日時：平成22年10月19日(火)～平成22年10月20日(水)

見学地：「深見地区地すべり」 石川県輪島市深見

検討会：輪島市文化会館 司会；大場幹事

参加者：23名

⑤ シンポジウム

日時：平成22年11月10日(水)

場所：長野市メルパルク長野

子どもシンポジウム；長野市立中条小学校5年生の総合学習成果

基調講演：「近年の土砂災害の動向とソフト対策」

国土技術政策総合研究所土砂災害研究官 西真佐人氏

パネルディスカッション；司会 川上 浩 信州大学名誉教授

テーマ：ー地附山地すべりあれから25年ー

「都市型災害の復興と地域づくり」

パネラー：西 真佐人：国土技術政策総合研究所土砂災害研究官

柳沢 廣文：長野建設事務所長

石月 忠雄：地附山トレッキングコース愛護会 参与

内藤 哲：NPO 長野県地すべり防止工事士会理事長。

⑥ 中部支部ニュース発行

日時：平成23年3月31日(木)

(6) 関西支部

① 第1回運営委員会

日時：平成22年4月2日 14:00～16:00

会場：京都大学防災研究所 所長室 (E-320D)

② 若手技術者・学生・研究者交流会

開催日時：平成22年6月24日 13:30～17:30

開催会場：京都大学防災研究所 セミナー室Ⅲ (E-517D)

話題提供 8名、リングせん断試験機等見学、意見・情報交換会

③ シンポジウム 「政権交代と地すべり防災」 ・ 関西支部総会

開催日時：平成22年6月25日 10:00～17:00

開催場所：建設交流館 8階グリーンホール

主催：(社)日本地すべり学会関西支部

後援：(社)砂防学会、(社)地盤工学会関西支部

・参加者：シンポジウム 42名、意見交換会 20名

- ・特別講演：「政権交代と新しい防災の時代」
民主党衆院議員・衆院災害対策特別委員会理事 高橋 昭一

- ・話題提供：

- (1) 「地震時宅地防災と危機管理」
浄土真宗寶福寺 廣野 一道
- (2) 「災害の危機管理としなやかな社会」
関西大学社会安全学部 永松 伸吾
- (3) 「南海地震対応のBCP策定事業」
高知大学 大年 邦雄
- (4) 「土砂災害のBCP（事業継続計画）の事例紹介」
地層科学研究所 里 優

- ・パネルディスカッション 「新時代の地すべり防災事業」

④ 第2回運営委員会

日 時：平成22年11月1日 13:30～15:30

会 場：京都大学防災研究所 セミナー室Ⅲ (E-517D)

⑤ 現地討論会 「花崗岩地帯の土砂災害」

開催日：平成22年11月5日・6日

見学地：山口県 山口市～防府市

討論会場：ホテルかめ福

主 催：(社)日本地すべり学会関西支部

後 援：(社)砂防学会、(社)地盤工学会関西支部

- ・参加者：見学会 37名、討論会 49名、技術交流会 33名

- ・特別講演：「活動期に入った日本列島—活断層と内陸地震について」
山口大学大学院理工学研究科 金折 裕司

- ・基調講演：「災害の概要とその後の対応について」
山口大学大学院理工学研究科、
地盤工学会防府災害緊急調査団団長 兵動 正幸

- ・話題提供

- (1) 「非定常FEM解析結果による泥流発生機構の推定」
(株)ケイズラブ 代表取締役、山口大学非常勤講師 河内 義文
- (2) 「住民アンケート調査による土石流の前兆現象について」
山口県防災・砂防ボランティア協会理事長 判野 充昌

- ・パネルディスカッション

⑥ 講習会 「GISを用いた地すべり地形解析入門」

開催日時：平成22年11月26日 10:00～17:00

開催会場：京都大学 宇治おうばくプラザ セミナー室4・5

講 師：土志田 正二、内山 庄一郎（独立行政法人 防災科学技術研究所）

参加者：21名

⑦ 会誌 “らんどすらいど” No.26 平成 22 年 12 月 27 日 発行

- ・ 大規模地すべり形成過程の一考察
－京都府相楽郡笠置町の切山地区地すべりを事例として－
山口 巖 ・ 亀田 尚志 (日本工営(株))
安田 勝 ・ 小森 秀人 ・ 栗田 清光 (京都府山城南土木事務所)
- ・ 山陰の地すべり
藤村 尚 ((社)日本地すべり学会関西支部長)
真弓 教史 ・ 銭谷 聡 (国土防災技術(株))
日和田 修司 ・ 斎籐 義之 (日本工営(株))
橋尾 宣弘 ((株)エイト日本技術開発)
前田 伊典 (応用地質(株))
- ・ 兵庫県但馬地域 大久保地すべり
真弓 教史 ・ 銭谷 聡 (国土防災技術(株))
- ・ 鳥取県の地すべり
日和田 修司 ・ 斎籐 義之 (日本工営(株))
- ・ 島根県の地すべり
橋尾 宣弘 ((株)エイト日本技術開発)
- ・ 山口県北部 日本海沿岸の地すべり
前田 伊典 (応用地質(株))
- ・ 西南日本内帯の後期白亜紀花崗岩の系統的断裂系・風化帯構造と斜面変動
横山 俊治 (高知大学)
藤田 勝代 ((財)深田地質研究所)
光本 恵美 ((株)ヒロコン)

(7) 九州支部

- ① 第 49 回研究発表会及び現地見学会
開催日：平成 22 年 7 月 6 日(火)～9 日(金)
会場：沖縄ハーバービューホテルクラウンプラザ
参加人数：550 名
- ② 幹事会・総会
開催日：平成 22 年 8 月 2 (月)
会場：博多パークホテル
参加人数：32 名
- ③ 学術講演会
開催日：平成 22 年 10 月 21 日 (木)
会場：大分県別府市 亀の井ホテル
参加人数：126 名

④ 見学会

開催日：平成 22 年 10 月 22 日（金）

会場：大分県別府市 乙原地すべり，明礬地すべり

参加人数：43 名

⑤ 技術検討会

開催日：平成 23 年 3 月 11 日（金）

会場：琉球大学農学部

参加人数：68 名